

カスミサンショウウオの保護に向けた生息場所（保護池）設置事業 田村山生き物ネットワーク

活動場所：滋賀県長浜市 田村山周辺
 所在地：滋賀県長浜市
 設立年：2010年11月
 会員数：約80名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

田村山山麓で発見された県指定の希少種カスミサンショウウオの水不足による幼生絶滅を機にその保護組織として、長浜バイオ大学・地元企業等や周辺自治会などで団体設立。生息に必要な恒久水量確保として、夏原グラント助成金を活用し、昨年度「保護池」を新設。しかし、従前の生息地から保護池に移した卵から成長した親が、果たして保護池に再び戻ってくるのが課題となり、2014年度はその追跡調査及び周辺の環境整備事業、更には保護意識改革として、保護池清掃や意識啓発学習会、成長観察のための小屋設置準備事業を実施することができました。

「環境や地域への貢献」

地域住民（学生含む）が大きく関わった保護池設置等の事業が認められ『平成25年度しが生物多様性大賞』を受賞、また田村山周辺の各種団体事業への当ネットワーク参加へと繋がり、その中での保護活動説明へと発展、地域での活動拡大に繋がっています。

「助成金が活きたと思う点」

夏原グラント助成金の活用ができたことにより、保護池設置はもとより、当ネットワークの保護活動が県内外へ情報発信され、県内関係団体からの学習会参加や活動発表、また保護事業への参加拡大に大きく繋がっていると感じています。

天然更新試験地食害防止活動と植生調査 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

活動場所：滋賀県長浜市西浅井町 山門水源の森
 所在地：滋賀県長浜市西浅井町山門地先
 設立年：2001年4月1日
 会員数：130名
 HP：http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/
 連絡先：滋賀県大津市穴太3-15-18
 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

山門水源の森は、1960年代まで薪炭林として利用されてきました。人のはたらきかけによって生物多様性が保全されてきました。しかし薪炭林としての利用が無くなった現在、生物多様性が貧弱になってきました。この状態をかつての状態に回復するため、森林の一部を皆伐し天然更新をはかっています。皆伐により植物の種数は、皆伐前の約2倍に増加しました。しかし、シカによる食害が年々増加してくることに鑑み、調査区の半分に食害防止ネットを設置し、ネットの有無による植生の回復状況を継続的に調査しています。食害防止ネットの巡視は毎日実施しています。

「環境や地域への貢献」

皆伐更新により植物の種数及び被度ともに増加し、薪炭林として活用していた時代の森林更新の合理性が観察者や地域の方々に理解されるようになりました。このことにより二次林には、適度な人の介入が必要であることも広く認知されるようになりました。同時にシカの食害の凄まじさ（食害防止ネットの設置の有無で）が理解され、シカの頭数管理が生物多様性保全の鍵になることが再認識されるようになりました。

「助成金が活きたと思う点」

助成金のおかげで広範囲に食害防止ネットが設置できたことにより、これからの生物多様性保全には獣害対策が最大の課題であることが明らかになりました。また調査用ビデオ設置ができたことにより、日々のシカの行動が動画で捕らえられ猟期に捕獲することができました。

余呉トレイル林道整備事業 余呉トレイルクラブ

設立年：2009年5月
 活動場所：長浜市余呉町内の林道
 所在地：長浜市余呉町中之郷260番地（ウッドイパル余呉内）
 会員数：40名（2015年3月31日現在登録数）
 HP：http://woodypal.jp/yogotrail



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

余呉の山々は、かつては林道が整備されており、林業や物流に様々な恩恵をもたらしていました。この荒廃した林道の整備を行い山々にある貴重な財産を多くの方に知ってもらうことや登山をするにあたってのマナー啓発を目的に整備事業を実施しています。平成26年度は魅力ある資源の再認識として、特にスノーシュー体験と景観ルート整備、賤ヶ岳合戦における城郭の勉強を行っています。

「環境や地域への貢献」

余呉町の93%にも及ぶ余呉の山々にはブナの原生林をはじめ、珍しい薬草や山菜が残っています。また、菅山寺や賤ヶ岳城郭等歴史資産も数多く残っており、こうした資源をツアー参加者へ周知し次世代へ残すことの必要性を説いています。また、林道及びポイント箇所での下草刈り、倒木撤去、岐路では道標の補修や目印テープ付けを実施し、安心して登山ができるように整備を行いました。

「助成金が活きたと思う点」

この助成によって余呉湖周辺の登山ルートや歴史資産へ繋がるルートの整備を行うことができました。また、地元の観光協会や地域づくり協議会が行っている紅葉やアジサイの植樹などにも参加をしており、より良い環境を地域とともに次世代へ引き継いでいきたいと思います。

夏原グラントの概要

新規採択事業の紹介

継続2年目事業の紹介

継続3年目事業の紹介

「綿づくり」を通して「人の輪」を広げよう おうみこっとな夢つむぎ

活動場所：彦根市本庄町
所在地：滋賀県彦根市本庄町 2479 番地
設立年：2009 年
会員数：12 名
HP：http://oumicotton.web.fc.com



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
5月に種まき、10月と11月に綿つみのイベントを主催し、休耕農地を借用した畑で本物の綿の感触を実感いただき、綿くり・糸車・機織り等の体験をしていただくとともに、野草や地域の食材を使った昼食をお出し、食材の説明と地産地消を行い、昼食後の自己紹介等で参加者の交流を図りました。修学旅行生や大学生のインターンシップを受け入れ、大学や小学校での講義、子どもセンター事業などにより環境教育・ものづくり教育を行いました。

「環境や地域への貢献」
主催イベントや出展イベントで、参加者に綿の加工体験をしてもらって、無農薬での綿の栽培による環境保全・綿製品使用による環境教育を行いました。また、休耕農地の活用や、綿づくりでの地域住民の方々の福祉施設の皆さんとの協働、綿製品の販売によるブランド化などにより地域振興につながっていると考えています。

「助成金が活きたと思う点」
今までストックしてきた綿を糸や布に加工できました。それを、スタッフが工夫して商品を作成し、イベントに出店したりして今まで以上に販売していると思っています。また、去年は、広い面積を借用して多くの綿の取れる品種を植え大量の綿が取れたので、今年も糸等に加工し、商品製作や販売をしていく予定です。

竹林・コナラ林整備と 八幡山の景観を良くする会

活動場所：八幡山南面竹林・コナラ林一帯
所在地：滋賀県近江八幡市宮内町
設立年：2005年3月
会員数：約50名
HP：http://hachimanyama.ciao.jp
連絡先：koji2615@tiara.ocn.ne.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
八幡山公園上部のコナラ林がナラ枯れの被害に会い、被害拡大防止のため大量に伐採されて裸地が多く発生しました。そこで夏原グラントの支援で市民植樹会を開催、コナラの幼木を運算160本、3年間に亘り植樹しました。当日ナラ枯れについて勉強した後植樹をしました。緑の少年団他子ども達の参加も多く、立派なコナラ林が再生する事を願って植えました。又竹林の整備も年間を通じて行っており、荒廃竹林が美しい景観に戻ってきました。春の親子筍掘大会も本年で第10回を迎え、多くの市民や子ども達が筍掘を楽しんでいます。

「環境や地域への貢献」
竹林とコナラ林の定例整備作業の他、平成23年1月からは八幡山縦走路（八幡神社～百々神社）の定例整備も毎月1回行い、昨年5月でコース一巡し、今は2巡目として楽しい里山トレッキングができる様に取り組んでいます。コンセプトは所謂公共工事的な整備でなく、あくまでも自然な形を残しながら昔の里山の風景を楽しめる様、取り組んでおります。今では京阪神や中部地方からも団体でトレッキングを楽しむ方も増えてきています。

「助成金が活きたと思う点」
整備作業にはチェーンソー・草刈り機・鋸・ヘルメットほか、燃料費や森林ボランティア保険等多額が必要となりますが、支援のおかげで継続する事ができました。

環境保全に関する教育啓発、人材育成活動 琵琶湖お魚探検隊

所在地：滋賀県近江八幡市市内
活動場所：滋賀県近江八幡市市内
設立：2006年4月
会員数：10名
連絡先：近江八幡市縄手町元33 TEL：0748-32-2792
丹波喜徳



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
設立後今年で10年、琵琶湖お魚探検隊は自然体験学習のテーマ、自然の中へ、自然について、自然のために、身近な河川で本物の体験学習を行う、定例お魚調査日（毎月第三土曜日）にはこんな川にも生き物がいるのかな、親子で挑戦、獲ったお魚等の説明、お魚調査票（スタンプラリー）を子ども達に渡し記録させる（各自が保管）又ゴミの多さに気づき自らの手で回収、環境保全活動を行っています。年3回イベントを実施、①琵琶湖畔での地曳網体験（湖畔のゴミ拾い、魚の解説、外来魚の解剖）②デイキャンプではハンゴウ炊飯、葦松明づくり、③3つのお楽しみ西ノ湖体験。

「助成金が活きたと思う点」
一概に子ども達が水辺で体験したからといって急に成長が見られるものではありません。身近にある川あ汚れた川に生き物はいるかと言っていた子ども達、川があるから動植物が生きていることを実感、子ども達の中に本物の尊さとたくましさを生み出させたゆえに25年度夏休みの宿題で小学校2年生0君がコオイムシの観察を題材としてまとも県科学教育振興会から表彰、26年度もびわこの生ものと外来生ものを題材とし2年連続表彰を受けました。助成金をいただいたことにより良き成果を我々にもいただきました。

守ろう赤野井湾！オオバナミズキンバイ除去大作戦 認定NPO法人 びわこ豊穡の郷

活動場所：琵琶湖・赤野井湾流域
所在地：滋賀県守山市勝部5丁目10-25
設立年：1996年
会員数：442（正会員261、自治会61、企業23、賛助97）
HP：http://www.lake-biwa.net/akanoi/
連絡先：TEL:077-583-8686,FAX:077-558-5007



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
「オオバナミズキンバイ」が赤野井湾で発見されて以来、驚異的な生長スピードで赤野井湾のみならず、琵琶湖南湖でも生育範囲を広げてきました。このため様々な悪影響が生態系、漁業などに始まりました。この状況を何とかしようと、2013年に夏原グラントの助成金を受け、「オオバナミズキンバイ除去プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトでは、除去活動の他、啓発パンフレットの発行やパネル展示など、この活動を色々な場所や場面でアピールすることにより、国や県へ「特定外来生物」指定に向けたアプローチとしました。

「環境や地域への貢献」
2014年6月に、オオバナミズキンバイは「特定外来生物」の指定を受けることができました。それと同時に、滋賀県による大規模除去作業もはじまりました。これは、本事業が後押ししてきたからだと自負しています。また、このプロジェクトには、自治会をはじめ、漁協、学生ボランティア、地元企業もメンバーに加わり、強い連帯感も生まれました。

「助成金が活きたと思う点」
プロジェクト立ち上げや、除去活動の船代、多くの参加者の安全確保のための警備員や看護師の配置、広報啓発活動など、本事業は夏原グラントの助成金なしでは立ち上げることはできませんでした。また本事業のおかげで、今まで当法人が苦手としてきた他団体との協働も、実現することができました。

琵琶湖と暮らしのつながりの再生 特定非営利活動法人 碧いびわ湖

活動場所：たまてばやし（滋賀県栗東市下戸山）
所在地：滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
設立年：2009年
会員数：142名
HP：http://aoibiwako.shiga-saku.net/
連絡先：TEL:0748-46-4551,FAX:0748-46-4550, info@aoibiwako.org



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
私たちは、栗東市下戸山にある里山（竹林と遊休農地）にて、「子どもとともに自然の中で遊び学ぶ場づくり」を行っています。昨年、竹林のなかに、みんなで建てた炊事小屋に、今年は、「どへっつい」と呼ばれる土かまどをつくりました。田んぼの土を運び、農家さんにわけてもらったワラを混ぜ込んで寝かし、熟成させることで、かまど用の土ができました。

「環境や地域への貢献」
いま、多くの家庭には、上下水道・ガス・電気がごく当たり前であり、ふだん使う「水」や火をおこす「燃料」のありがたみを感じることは少なくなりました。そうした中、手連れで、この場所に集まって一緒に遊んだり、作業したり、また、切った竹を燃料にしてご飯を炊き、屋根から樋をとおして1tタンクに貯めた雨水を使ってお皿を洗う。そんな活動を楽しみながら行っています。

「助成金が活きたと思う点」
夏原グラントの助成をいただいていることで、周辺地域の方々からの信頼を得るのに役立っています。次年度は、地域の住民や農家と一緒にイベントを実施することになり、準備を進めています。小さな地域から、琵琶湖や身近な自然環境とのつながりを豊かに感じられる暮らしを広げていきたいと考えています。

里山保全及び山林資源の有効利用とその促進事業 市民活動支援 レッツ栗東

活動場所：滋賀県全域対象（但し、現在高島市の実績なし）
所在地：滋賀県栗東市小野70-70
設立年：2004年
会員数：12名
HP：準備中
連絡先：所在地と同じ TEL:090-9880-9138 担当：平田



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
私有林及び公園の竹林で、立ち枯れ竹や間伐の実施、竹材の利活用のため、小学校、市民センター、自治会等地域で竹細工のイベント協力、竹細工加工技術講座の継続開催、竹細工作品の展示。

「環境や地域への貢献」
高齢者仲間による作業のため、また機械や動力を使った仕事でないため、大きな成果が上げられませんでした。けれども、環境問題の解決は地域の人々の考えを変えることが一番大切だと考えているので、派手な事ができないけれど、県内で多くの人の賛同が得られ、各地域で自主活動もできてきたと考えています。

「助成金が活きたと思う点」
仲間の人たちに、作業工具、イベント協力、展示会等の経費を、自前手弁で賄っていただいていたものが、助成金のおかげで支給することができ、快く参加していただけるようになりました。

和邇川流域の環境再生 - ホタル・シジミ・稚鮎の群れの復活を目指して - しがの里山や川を美しくする会

活動場所：滋賀県大津市北部
所在地：滋賀県大津市和邇高城 363-6
設立年：2010年10月31日
会員数：110名
HP：環境しがの会 滋賀県大津市
http://shiganokai.web.fc2.com/
連絡先：滋賀県大津市和邇高城 363-6 山田 利春

「夏原グラントで実施した事業の紹介」
〈環境再生・ホタル・シジミ・アユの復活活動〉9月19日：シジミの水
中カメラによる湖底観察と学習交流会を実施（マスコミの参加もあり）
9月27日：堅田漁協の協力によりシジミの試験操業（湖底引き：マンガン）
を実施、シジミ生息の確認。多くの人々がシジミ生息を確認でき、復活に
対する希望が出てきた。



「環境や地域への貢献」
県：三日月知事に面会し、シジミを進呈。びわ湖の水質保全をお願いし
た。市：不法投棄対策課や環境政策課に面会し、濁流防止をお願いした。
地域：広報「しがの里山だより」を配布し、シジミ復活と環境保全を広くPRした。ホタルが激減しているが鮎は増えたとの報告もあった。地域の環境に対する意識が高まった。協力してくれる人が少しずつできて、情報提供が多くあり、寄付も増えた。

「助成金が活きたと思う点」
初期の活動と比べると、機材も増え、広範囲な広報活動や水中カメラによる湖底観察、漁船によるシジミ調査などが、助成金により可能になった。

みんなで守るホタルと川 ホタルの学校

活動場所：千丈川 瀬田川
所在地：滋賀県大津市南郷 2-24-6
設立年：2003年4月
会員数：小学生20人 サポーター（中学生2・高校生1・大学生3人 大人13人）
連絡先：滋賀県大津市南郷 2-24-6 TEL:077-534-8568

「夏原グラントで実施した事業の紹介」
千丈川の生きもの観察（魚・水生昆虫・カワニナ等）は、冬季以外は毎月実施し、採取した生きものをしっかり観察するために絵を描いています。今年度も近畿子ども水辺交流会・琵琶湖博物館・地域の文化祭・小学校など多くの場所で子どもたちの作品（絵や観察記録等）を展示させていただき、ホタルや川を守る大切さを伝えることができました。また、台風18号の影響を受けてホタルが激減しましたが、ホタル観察を続けている中学生たちの中には、ホタルを守りたいという気持ちが芽生えてきています。



「環境や地域への貢献」
生きもの観察時には、子どもたちは、自主的に川の中のゴミ拾いをし、今年も「ゴミをすてないで」のポスターを作り、ゴミ減量につないでいます。瀬田川ぐるり散歩道（唐橋～南郷）が完成し、南郷ほたる橋に取りつけられた陶板（2か所）に、ホタルの学校の子どもの絵がかけられ、多くの人にメッセージを伝えています。

「助成金が活きたと思う点」
台風18号の影響で石の階段が流されてしまいましたが、はしごを助成金で購入し、川へ気軽に降りられ、生きもの観察がしやすくなりました。ありがとうございました。

ウォーターステーション琵琶の会 環境啓発活動事業 ウォーターステーション琵琶の会

活動場所：ウォーターステーション琵琶を拠点に琵琶湖、瀬田川、淀川流域
所在地：滋賀県大津市黒津 4-2-2 ウォーターステーション琵琶
設立年：2010年4月12日
会員数：22名（ただし、各自が所属する団体の構成員のためイベント等の協力は協力団体を含め100名以上）
連絡先：077-536-3520(ウォーターステーション琵琶)
HP：http://www.water-station.jp/

「夏原グラントで実施した事業の紹介」
夏休みに親子で楽しく、体験を通して環境を考えてもらいイベント第7回「水辺の匠おもしろステージ」を開催しましたが、3800余名もの人たちが参加してくれ、大盛況でした。12月には、フィンランドの神父様をゲストに迎え、外国のクリスマスの様子を聞いたり、リースやキャンドルなど、自分たちでオリジナルの作品づくりに挑戦してもらいました。この時も冬場の日で800余名の参加がありました。



「環境や地域への貢献」
自分たちの身近にある自然素材（ドングリなどの木の実、ドライフラワー、ヨシや間伐材等）を使って親子でモノづくりに挑戦したり、「よし笛演奏」ホタルやコハクチョウを守る活動をしている人から話を聞くことにより、楽しみながら、自然にやさしい生活をするのが、循環型社会づくりにつながることを知る機会となっています。様々なイベントや講演会を開催することにより、毎回、楽しみにしている地域の人たちも増え、交流の場となっています。

「助成金が活きたと思う点」
カラーのイベント案内チラシを大量に印刷することができて、地域の公民館、学校関係等に配布することができました。僅かではあるが、当会以外の人に謝礼を渡すことができ、内容が豊かになりました。自分達のイベントにおける備品等の充実に寄与していただきました。

鴨川源流の森林環境保全のための 市民参加型森づくりイベントの実施 理想の森プロジェクト

活動場所：京都市北区雲ヶ畑にある山林（通称：理想の森）およびその周辺
所在地：京都府京都市北区
設立年：2003年（前身団体解散後、2012年に現団体を設立）
会員数：なし（会員制をとっていません）
HP：http://risoh.exblog.jp/

「夏原グラントで実施した事業の紹介」
年間を通して鴨川の源流にあたる、北区雲ヶ畑地域の森林の整備を行いました。2014年度は特に、荒れ放題になっていた松林の整備に力を入れ、見違えるようなすっきりと見通しの良い森にすることができました。また、10年前に植林した広葉樹を今年はじめて伐採し、薪として収穫をすることができました。この他、京都市内の色々なお祭などに私たちの活動をPRするブースを出展し、森づくり活動の楽しさや雲ヶ畑地域の魅力を発信しました。



「環境や地域への貢献」
フィールドにしている7haの「理想の森」に関しては、ほぼ植林が完了し、森林の持つ公益的な機能の向上につながったと思います。また、活動に参加して下さった方々には、鴨川源流の森林と京都市街地の暮らしのつながりや、雲ヶ畑地域の文化の魅力について、しっかりとお伝えできたと思います。

「助成金が活きたと思う点」
森林整備作業は危険が伴います。助成金のおかげで専用の保険への加入や救急道具の準備を万全に行うことができました。また、パンフレットの作成や配布など広報面でも助成金を使わせていただき、活動を広く知っていただくことができました。

京都市・深泥池における 池畔林伐採実験のモニタリング 深泥池池畔林研究会

活動場所：深泥池（京都市）
所在地：滋賀県大津市平野 2丁目 509-3 京都大学 生態学研究センター
設立年：2年
会員数：5名

「夏原グラントで実施した事業の紹介」
生物群集全体が国の天然記念物に指定されている深泥池の南岸では、この数十年のうちに、薪炭利用の衰退に伴って常緑樹が繁茂し、本来の明るい水辺特有の生態系が失われていました。これまでに、常緑樹を部分的に伐採した区域が実験的に作成されてきましたが、当研究会では定期的なモニタリング調査を実施することで、生態系の回復過程を科学的に明らかにしてきました。近年では、シカの食害による林床植生の衰退も大きな問題となっているため、実験区域の一部に防鹿柵を張り、「伐採による植生回復の効果」と「シカの食害防止による植生回復の効果」を切り分けて評価できる体制を整えました。調査の結果、伐採によって林床が明るくなると、林床植生は劇的に回復することが分かってきました。しかし、林床が明るくなくても、シカの食害が激しいために植生の回復が起りにくくなっていることも分かってきました。



「環境や地域への貢献」
柵の設置や野外調査には、地域の方々や学生さんにも協力していただき、地域での保全教育や環境意識の向上に役立てることができました。

「助成金が活きたと思う点」
今回の助成によって、防鹿柵とその設置器具、および調査器具を充実させることができ、多くの参加者に効率よく協力していただけました。

どんぐりの森作り 久保川と天王山の森を守る会

活動場所：天王山の北側（京都側）の麓
所在地：京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字小倉口 1-19
設立年：1998年4月
会員数：20名
HP：http://blogs.yahoo.co.jp/takeuchi0091
連絡先：h.takeuchi0091@leto.eonet.ne.jp,075-957-5692

「夏原グラントで実施した事業の紹介」
自然と共存する美しいまちづくりを願って自然環境保全活動を行っています。久保川の清掃、久保川のホタル再生・保全、京都府準絶滅危惧種カリガネソウ植生地の整備・保全、山桜の保全整備、天王山の侵入竹間伐、竹林整備保全、小学校の環境学習（ドングリの植栽）の支援、親子タケノコ掘りイベントなど。



「環境や地域への貢献」
「命をつなぐ森作り」（生物多様性の森）について市民に啓発しています。その実践活動の一環としてドングリ苗の植栽（落葉樹の森作り）、ヤマザクラ、イロハカエデを植栽しています。侵入竹間伐により、登山道が明るくなり、多くのハイカーが訪れるようになった。竹林広場での音楽活動や登山道でのラジオ体操の機会を提供することができました。

「助成金が活きたと思う点」
竹林整備に必要な消耗品（ツルハシ、ノコギリ、杭、シカ除けネット、ロープなど）の新規、補充に対応できました。

ペレットストーブの普及で水源の郷を守る活動 特定非営利活動法人 妙理の里

活動場所：滋賀県長浜市余呉町及び木之本本地区
所在地：滋賀県長浜市高月町東物部 898-5
設立年：2012年3月
会員数：22名
HP：http://www.myorinosato.com
連絡先：事務局 0749-85-4830 (090-7318-1894)



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
「地球温暖化は、予想をはるかに超えるスピードで進行しています。いま、行動すれば、子どもたちと人類の未来を守ることができます」を合言葉に、先進地に学びながら“木質ペレットストーブの普及活動”を主とした事業活動をしています。会員の構成は40歳代4名、60歳代4名、70歳代14名です。普及はこれまで、大津市、甲賀市をはじめ県下全域へと広がっています。

「環境や地域への貢献」
滋賀県主催の“森づくりふれあいフェスタ 2012～2014”をはじめ、各地の環境フェスタなど年間10か所に出展、“滋賀グリーン購入ネットワーク”にも入会して、市民の環境意識向上に努めています。また、障害を持つ人たちとの協働で、“木質ペレットの袋詰め・配達”で、平成26年度は約4,000袋(5kg)の実績をあげました。

「助成金が活きたと思う点」
設置工事のペレットストーブ・部材運搬や、木質ペレットの配達で困窮していた“軽トラック(中古)やハンドリフト”を取得でき、高齢者の多い私たちの事業活動を助けていただきました。

源氏ホタル「特別天然記念物指定地」の環境(ホタルンロード) 整備と浚渫河川へのカワナナの放流事業及びカワナナ養殖水路改修 ニナプロジェクト・ホタルン(カワナナ里親の会)

活動場所：滋賀県米原市長岡天野川周辺地
所在地：滋賀県米原市長岡 1233-2
設立年：平成21年3月
会員数：20名
連絡先：代表 田中真示 滋賀県米原市長岡 1233-2
TEL 0749-55-016



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
全国で唯一の国の特別天然記念物「長岡の源氏蛭及びその発生地」を多くの方に紹介。国の特別天然記念物指定地、天の川護岸道路の住民参加型「ホタルンロードの創造」。地域のポケットパークに環境啓発看板設置と蛭保護パネル(山東小生徒絵図) 掲示。米原市立山東小学校3年生のホタルの幼虫観察会支援活動(幼虫採取提供)。米原市立山東小学校での環境学習「はたるのお話会」開催。

「環境や地域への貢献」
ホタルンロード創造については、滋賀県長浜土木・米原市の関係各課との連携協力が図れた。地域住民参加型の企画により、「絆」事業として幅広い世代の方が協力していただいた。ホタルンロードは、年間を通じた蛭保護・環境保全活動の大切さの情報発信モニュメントとして地域密着型の掲示施設として、アピールが継続できるモニュメントとなった。県長岡交差点のポケットP整備は、通行車両・通行者に水環境の大切さの発信が継続できる。

「助成金が活きたと思う点」
夏原グラントの支援により地域地域住民参加型の環境活動が達成できた。ホタルンロードには、夏原グラントの趣旨支援活動を記載した掲示パネルが設置できた。夏原グラントの支援による取組が、米原市行政放送・地元環境活動を紹介する新聞等に幅広く情報の発信が継続し実施できた。ホタルンロードは、年間を通じた蛭保護情報発信アピールが継続できるモニュメントとなった。関係各所へのニナプロジェクト・ホタルン日常活動報告において助成金の効果報告ができた。

千鳥ヶ丘公園(雨壺山)の荒廃竹林を「里山」に再生 彦根雨壺山・護林会

活動場所：雨壺山
所在地：滋賀県彦根市
設立年：2004年6月
会員数：35人
連絡先：〒522-0086 彦根市後三条町286 吉原正興 <0749-23・0835>



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
彦根市の都市基幹になっている千鳥ヶ丘公園(雨壺山)の北西山腹で、市民ら有志のボランティア活動として荒廃竹林などの美林化と取り組んでいます。作業は密生する竹林で間伐や倒伏竹の処理、コナラやアベマキなどブナ系樹林では浸食した孟宗竹の除去や灌木伐採を進め、冬期を除いて除草作業にも追われます。

「環境や地域への貢献」
活動を始めて11年目の2014年度も夏原グラントの支援で、無事乗り切ることができました。この年はチェーンソーや草刈り機を補強、高枝切り電動チェーンソーと山中で使えるよう小型発電機も購入し、スギやウメなどの古木の枝打ちに初めて取り組みました。また、野鳥の集まる森にと、密集竹伐採でできた遊歩道近くの空き地にユスラウメやグミの苗木を植林しました。

「助成金が活きたと思う点」
荒廃林当時をしる市民からは「手入れすればこんなになるのね」とお褒めをいただきます。作業途中に全員集まって「お茶休憩」をしますが、「散策する人が『きれいになった』『森が明るくなった』と会話していた」など披露されると、後半の作業は一段と力が入ります。ノコや燃料の心配をせずに作業が進められ、新たな取り組みに挑戦できたのも、ひとえに夏原グラントの支援のおかげと感謝しています。

びわ湖の森の間伐材買取事業 一般社団法人 kikito

活動場所：湖東地域
所在地：滋賀県東近江市一式町 564-5
設立年：2008年
会員数：37人
HP：http://www.kikito.jp/
連絡先：info@kikito.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
湖東地域(日野町、東近江市、愛荘町、甲良町、多賀町、彦根市)の森林で伐採された間伐材(150.4t)について、地域内2か所(多賀町、日野町)で買い取りを行いました。買い取った間伐材は、製紙用チップを製造する業者を通じて製紙メーカーに販売しました。当団体の買い取り価格は、市場単価より高く(+1,500円/t)設定しており、その価格差および必要経費を助成金の対象としました。

「環境や地域への貢献」
買い取った間伐材を活用した商品開発(コピー用紙や印刷用紙)により、市・地域の関係団体(自治体を含む)がそれら商品を導入する動きにつながり、地域の間伐材の活用について広く普及啓発することができました。森林所有者に、商品で間伐材の活用例を示すことにより、更なる間伐意欲の喚起にもつながりました。また、このような活動に賛同する団体が他地域で活動を始めています。

「助成金が活きたと思う点」
間伐材の買取量が増加してきた中で、軽量機や重機などが必要となってきました。今回の助成金でそれらの経費をまかなうことができ、間伐材の買取量も順調に増えてきています。今後、さらに商品の普及啓発を進めることで、事業の自立を目指します。

きぬがさ山系の登山道の整備作業と子ども達の里山での自然体験学習 きぬがさ山「里山に親しむ会」

活動場所：安土、五個荘、能登川にまたがる「きぬがさ山」
所在地：ログハウス 滋賀県東近江市五個荘石馬寺町
設立年：2003年
会員数：20名
HP：http://ameblo.jp/satoyama-friends/
連絡先：東近江市五個荘金堂町558 代表 中澤嘉夫



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
安土・能登川・五個荘にまたがる標高433メートルの「きぬがさ山」、琵琶湖を望み鈴鹿山系を望むならかな遊歩道の散策コースをより多くの皆さんに親しんでいただく山の魅力、自然の楽しさ、緑の大切さを理解していただくよう毎月第三土曜日を定例作業日と定め活動してきました。作業は主に遊歩道の草刈り、枯れ木や自然災害での倒木処理、要所に道案内の看板作製、本拠地のログハウス周辺の子ども達の遊び場づくりです。

「環境や地域への貢献」
活動を始める前の遊歩道は草が茂り倒木が放置された状況でした。次代を担う子ども達が山を愛し山を育む心を育てる事が大切だと思われ今日に至りましたが、いまではたくさんの方が山に登られ景色を楽しみ体力づくりに仲間づくりに利用されていると思われたい。

「助成金が活きたと思う点」
活動を続けるためには資金が必要です。会員の会費だけでは草刈り機やチェーンソーなど高価な機械類、また看板作製のための材料費や工具類等で不足します。3年間助成金をいただいたおかげで備品が整い定例作業が順調に続けられると思われたい。快適な遊歩道に、日に日に山に登る方が増えたことが何よりと助成金をいただいたことに感謝しています。

桜並木の整備による憩いの散策路づくり 白鳥川の景観を良くする会

活動場所：滋賀県近江八幡市 白鳥川(ＪＲ線からびわ湖湖岸付近の約5km)
所在地：滋賀県近江八幡市日吉野町 644-75
設立年：2006年2月
会員数：約60名
HP：http://sky484.com/
連絡先：事務局：佐藤成宜 (0748-37-5146)



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
「白鳥川の景観を良くして、桜並木を整備し、憩いの場を作りたい」という熱き思いを持った主に退職男性を中心に発足した私たちの活動は10年目を迎えました。市内中央を流れる白鳥川流域の約5kmの除草やゴミ拾い、桜並木の育成管理等の定例活動(毎月第1・3・5水曜日)の他、近隣小学校の校外環境学習支援・桜ぼんぼりの設置・鯉のぼりの川渡し等の事業活動で、市民の皆様が親しみ・楽しんでいただいています。

「環境や地域への貢献」
白鳥川に並走している散策路(遊歩道)は市民のジョギング・ウォーキングコースとして親しまれています。また市立医療センターの患者さんたちの散歩コースとしても親しまれており、ぼんぼりや鯉のぼりの川渡しが癒しに役立つとともに「元気づけられた」というお言葉を多数いただいています。さらに桜ぼんぼりは今年約1kmに235個に拡大、これは県下でも(ひょっとしたら日本でも)最大級のぼんぼり点灯距離ではないかと自負しており、18日間のぼんぼり点灯は地域の風物詩として定着してきています。また、鯉のぼりは3列の川渡しと川沿いに約100匹余の鯉が天空を舞って、子ども達や入院患者さんなど多くの市民に元気をくれています。

「助成金が活きたと思う点」
助成金は白鳥川流域の除草作業で重宝の刈払機の充実やガソリン・替刃に活用させていただき、私たちの主活動の安定活動に大きく寄与しています。

佐久良川周辺里地での貴重動植物の持続可能な保護活動の探索 特定非営利活動法人 蒲生野考現倶楽部

活動場所：主に日野町、東近江市
所在地：滋賀県東近江市
設立年：1990年4月、2003年法人化
会員数：30名
HP：ブログ <http://kougenclub.shiga-saku.net/> Facebook 蒲生野考現倶楽部



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
環境省のモニタリングサイト1000里地調査に参加し、日野町川原や同町奥之池にて、植物や野鳥などを調査した結果、両地点いずれも農耕地周辺に希少動植物が残されていることが分かりました。しかし、少子高齢化が進む当地区では農耕地の放棄や除草剤の使用等により、これら希少動植物が消えかねません。そこで、地元住民自らが地元の環境保全に関わることが必須と考え、調査への参加を通じて、また調査報告書を通して、住民の方々に関心を持ってもらうことを目指しました。

「環境や地域への貢献」
調査活動を通じて希少動植物がここに暮らし、これらを守る大切さに関心を持ってもらえたのではないかと思います。また、具体的な草刈りの時期など、地元の方に理解いただけたと思います。

「助成金が活きたと思う点」
この度の助成金を使って図鑑兼調査結果報告書としてまとめることができました。この冊子を見て、地元の多様な生き物に魅力を感じ、後の世代に残していきたいと思っていただけたのではないかと思います。

こんこん山の里山再生と森保全ワークショップ 特定非営利活動法人 子育て研究会

活動場所：アートスペース陽なた村・滋賀県栗東市金勝井上
こんこん山
所在地：滋賀県守山市石田町362番地
設立年：2006年7月10日
会員数：77名
HP：<http://www.fmc-pair.jp/>
連絡先：TEL:077-585-4884, kosodate@fmc-pair.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
本事業は、「障がいの有無を問わず、森が子ども達の居場所であり続けるために、専門家の手を借りて里山の再生、森の保全を行う」ということを主旨したものです。安心安全に子ども達が過ごせるために、森自体が健康で安全なものでなくてはなりません。また、安全危険を見分けることは森で過ごすための絶対要件であり、そのための勉強が必要です。本事業で実施した活動・WSにおいては、子ども達だけではなく、スタッフや参加した大人達もたくさん体験をし、森についているんなことを学びました。

「環境や地域への貢献」
大人達の学びの中には、昔あった森の姿・現状について・将来について…と、時系列で森を感じる体験がたくさんありました。この体験を活かしてできるだけたくさん子ども達に、その事実と森で過ごすことの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。「貢献」というより、環境や地域を方々とともに育っていければ嬉しく思います。

「助成金が活きたと思う点」
森を整備する中で、予期せぬ自然被害や木の病気などに出会い急な出費が必要なお金が多々ありました。またより充実した活動をするための知識や道具をそろえるために、この助成金の存在ははとて大きなものでした。3年間を振り返り改めて感謝いたします。

コバノミツバツツジの郷づくり 子ども活動サポーター会

活動場所：滋賀県湖南市菩提寺地域
設立年：2002年4月1日
会員数：20名
HP：Facebook ページ <https://www.facebook.com/pages/コバノミツバツツジの郷づくり/409101189176389>
連絡先：ya.sasatani@gmail.com
笹谷宛までメールでお願いします。



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
活動を始めて3年目、移植・挿木が困難なコバノミツバツツジを実生苗から育てて、地植えするまでの独自技術を開発して、菩提寺北小学校のグラウンド横の法面に、苗木を植えられるようになりました。2015年4月4日から19日にかけて、湖南市立甲西図書館にて、コバノミツバツツジの花や活動を紹介する写真展を開催いたしました。

「環境や地域への貢献」
菩提寺北小学校の子どもたちとともに種まきを行い、同校20周年記念にパンフレットを配布するなどして、小学校や、幼稚園、老人福祉施設などにも広く、自生しているコバノミツバツツジが、美しいとともに、里山の生物多様性保全のためにについて重要なことをPRすることができました。来訪された2団体に対して、コバノミツバツツジを実生苗から育てる考え方と方法をお伝えすることができました。

「助成金が活きたと思う点」
2014年4月の空撮によって、コバノミツバツツジについて、希望が丘公園の山塊全体の林縁に広く分布していますが、林内では林床が暗くなり花が咲かなくなっている状況がよく確認できました。また、空撮は、PRのインパクトが大きく、訴求力がありました。

巨木を育む豊かな森と水源の郷をつくるトチノキプロジェクト 巨木と水源の郷をまもる会

活動場所：高島市朽木一帯
所在地：滋賀県高島市朽木能家398
設立年：2010年10月
会員数：90名
HP：<http://kyobokutosuigennosato.jimdo.com/>



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
源流の森づくり事業では、トチノキとオニグルミの実や苗を、下流の新旭町針江で植え付けを行い、2014年4月26日には、膝丈ほどになった苗の一部を、朽木針畑の源流の駅「山帰来」に移植しました。移植にあたり、苗がシカの食害にあわないよう柵を設置し、ネットで覆いました。食文化の継承事業では、朽木産のトチノキ実でトチモチをつくるためにトチノキ実拾いイベントを2回実施し、更に徹底して、トチノミが落下する9月10日前後会員で毎日トチノ実拾いをしました。ここでもシカに食べられない工夫を模索しました。

「環境や地域への貢献」
源流の森が健全になることで、生物多様性の保持、森林の水源としての機能の向上に役立つと考えます。さらに、源流の森の保全は、びわ湖の保全につながります。

「助成金が活きたと思う点」
朽木における源流の森の象徴であるトチノキを育てるには、獣害とくにシカの食害を防ぐために、柵とネットが不可欠となります。柵もネットも非常に高価であり、助成金は大変ありがたかったです。

表彰された事業の紹介



夏原グラント2014年度採択事業団体の中で表彰されたかどうか伺ってみると、いくつもの団体からお返事がありました。それだけでなく地元から感謝をされたことや、参加のお子さんが研究で入賞されたこと、事業に新たな進展があったことなどのご報告までもいただき、こちらまでうれしくなりました。誌面の都合により一部のものに限り掲載させていただきますことをお許しください。※時系列順
①受賞月②賞の名前と主催団体名③評価された点等

- 特定非営利活動法人おとくにパオ
 - ①8月4日②平成26年度水資源功績者表彰 国土交通大臣
 - ③長岡京市域の4割を占める西山での活動を通じて、次世代を担う子どもたちに、自然環境の変化と資源の有限性に目を向けさせ、当たり前に使っている水が自然の中で育まれた貴重な資源であることを伝える取組みを積極的に行っている。(写真上 後列右から3番目が おとくにパオ森口代表)
- NPO 法人国際ボランティア学生協会
 - ①11月30日②生物多様性アクション大賞2014入賞 経団連自然保護基金と経団連自然保護協議会
 - ③全国各地で行われている生物多様性の保全や持続可能な利用につながる活動を募る賞の5つ部門のうち「まもろう」部門にエントリー。
 - ①2015年1月10日②第8回淡海の川づくりフォーラム 準グランプリ 滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室
 - ③オオバナミズキンバイに対する初期対応の意識や、関西・関東含めた多くの学生による活動への取り組み、将来性に期待したいと評価していただき「生態系を守る学生力ますます繁殖させま賞」として準グランプリ(写真右 滋賀県知事と記念撮影)
- ホタルの学校
 - ①2015年1月26日②子どもホタルンジャー(環境省主催) ホタルンジャー「認定書」
 - ③「子どもホタルンジャー」に認定。「子どもたちも非常に熱心に取り組んでおり大変高く評価する。是非、引き続きこうした取り組みを実践し、取り組みを通じての子どもたちの成長についても報告してほしい」と評価された。
- 白鳥川の景観を良くする会
 - ①2015年3月25日②公益財団法人 滋賀県市町村振興協会
 - ③社会貢献活動として9年あまりにわたって活動が続けてきた功績に対する表彰。表彰状「地域に密着した社会貢献活動の取り組みにより地域社会の発展と住民福祉の向上に大きく貢献された」。
 - 琵琶湖お魚探検隊
 - ①2014年度②滋賀県科学教育振興会から表彰
 - ③団体自身ではないが、いつも活動に参加している小学生のO君が琵琶湖の生き物と外来の生き物を題材としてまとめ前年度に引き続き2年連続表彰された。





主 催 公益財団法人 **平和堂財団**

〒522-8511 滋賀県彦根市小泉町31番地 (株)平和堂本部内
TEL 0749-23-4575 FAX 27-3008
ホームページ <http://heiwado-z.jp/>

運営事務局 認定特定非営利活動法人 **しがNPOセンター**

〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町207-3 K&Sビル3F
TEL・FAX 0748-34-3033
メール shiga.npo@gmail.com
ホームページ <http://shiganpo922.shiga-saku.net/>